



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社伸和ホールディングス 上場取引所 札
コード番号 7118 URL <https://shinwa-holdings.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）佐々木 稔之
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）大野 誠 TEL 011（624）7871
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 －
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,226	5.4	41	△61.0	51	△52.7	30	△60.5
2025年3月期中間期	3,059	－	106	－	107	－	76	－

（注）包括利益 2026年3月期中間期 30百万円（△60.5%） 2025年3月期中間期 76百万円（－%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	22.17	21.69
2025年3月期中間期	59.09	57.62

（注）1. 当社は、2024年3月期中間期については中間連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

2. 2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、2024年10月20日までは2023年1月26日付で上場した東京証券取引所TOKYO PRO Marketにおける平均株価を、2024年10月21日以降は同日付で上場した札幌証券取引所アンビシャスにおける平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2,116	702	33.2
2025年3月期	2,181	726	33.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 702百万円 2025年3月期 726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	－	0.00	－	41.00	41.00
2026年3月期	－	0.00			
2026年3月期（予想）			－	37.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,469	1.5	249	20.6	248	△0.8	166	△7.7
								122.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	1,375,100株	2025年3月期	1,362,100株
2026年3月期中間期	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期中間期	1,366,855株	2025年3月期中間期	1,300,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業の全般的な業況感の改善及び雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復傾向が続いております。一方で、米国の通商政策の影響や不安定さが続く国際情勢、原材料・エネルギー価格の高止まりがもたらす物価高の影響により、景気の先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループが運営する飲食事業、物販事業の店舗では、季節のイベント等における人流の増加に伴う商機を的確に捉え、来店客数の増加としての取り込みが順調に進んでおります。また、原価率及び人件費率の管理を適正に行いつつ、固定費の圧縮のための施策を継続的に講じるとともに、原材料価格の高騰を踏まえた自社工場における製造の効率化等、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。

併せて、コーポレートスローガンである「食を通じてあふれる感動」に基づき、飲食事業及び物販事業における販売及び店舗展開の強化、人材の確保及び育成を引き続き積極的に進めるとともに、卸売事業の拡充にも注力してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

＜飲食事業＞

飲食事業におきましては、当中間連結会計期間末の店舗数は新たな店舗の出店、退店は無く、41店舗となりました。当中間連結会計期間においては、季節のイベント及び夏季期間の休暇等を契機とした人流の増加により来店客数が増加しました。また、一部商品の値上げを行ったことにより一会計当たりのお客単価が増加した一方、原価及び人件費が高騰したことにより、飲食事業における売上高は、1,998,603千円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益は208,752千円（前年同期比7.9%減）となりました。

＜物販事業＞

物販事業におきましては、当中間連結会計期間末の店舗数は新たに1店舗出店し、1店舗退店した結果、56店舗となりました。当中間連結会計期間においては、季節のイベントを契機とした人流の増加により来店客数が増加しました。また、一部商品の値上げを行ったこと及び値引き販売の抑制により一会計当たりのお客単価が増加した一方、原価及び人件費が高騰したことにより、物販事業における売上高は1,162,496千円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は97,200千円（前年同期比7.5%減）となりました。

＜卸売事業＞

卸売事業におきましては、新規取引先の開拓及び既存取引先からの追加受注等が計画を下回った一方、経費管理等を適切に行ったことにより、売上高は65,396千円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益は13,466千円（前年同期比201.2%増）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高3,226,496千円（前年同期比5.4%増）、営業利益41,674千円（前年同期比61.0%減）、経常利益51,089千円（前年同期比52.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益30,309千円（前年同期比60.5%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は2,116,498千円となり、前連結会計年度末に比べ65,131千円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が17,705千円、建物及び構築物が13,870千円増加した一方で、現金及び預金が42,607千円、商品及び製品が21,785千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は1,413,754千円となり、前連結会計年度末に比べ41,375千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が62,234千円、1年内返済予定の長期借入金が25,172千円増加した一方で、短期借入金が50,000千円、未払法人税等が39,052千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は702,743千円となり、前連結会計年度末に比べ23,755千円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が30,309千円増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が55,846千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ42,607千円減少し、927,148千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動により獲得した資金は、33,394千円（前年同期は159,963千円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額45,577千円、未払消費税等の減少額20,739千円があった一方、税金等調整前中間純利益51,089千円、減価償却費40,683千円、協賛金の受取額39,088千円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動により支出した資金は、53,879千円（前年同期は34,364千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出51,206千円、敷金及び保証金の差入による支出2,591千円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動により支出した資金は、22,122千円（前年同期は132,636千円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入150,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,781千円があった一方、長期借入金の返済による支出62,594千円、配当金の支払額55,846千円、短期借入金の純減額50,000千円等があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、2025年5月15日発表の公表値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,756	927,148
売掛金	262,626	263,012
商品及び製品	162,279	140,494
原材料及び貯蔵品	14,567	32,272
その他	86,974	65,183
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	1,494,704	1,426,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	128,682	142,553
機械装置及び運搬具（純額）	112,287	106,886
工具、器具及び備品（純額）	67,445	66,907
土地	91,479	91,479
リース資産（純額）	14,974	10,137
建設仮勘定	-	12,028
有形固定資産合計	414,869	429,993
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
敷金及び保証金	175,851	177,747
繰延税金資産	81,731	67,476
その他	14,472	14,669
投資その他の資産合計	272,055	259,893
固定資産合計	686,925	689,886
資産合計	2,181,629	2,116,498

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	254,528	252,778
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	87,955	113,127
リース債務	10,135	8,385
未払金	250,343	245,296
未払費用	44,443	49,506
未払法人税等	45,341	6,288
賞与引当金	9,216	7,610
株主優待引当金	26,300	17,647
その他	74,234	51,990
流動負債合計	902,498	802,629
固定負債		
長期借入金	457,944	520,178
リース債務	6,574	2,861
資産除去債務	88,113	88,085
固定負債合計	552,632	611,125
負債合計	1,455,130	1,413,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,784	52,675
資本剰余金	38,784	39,675
利益剰余金	635,929	610,393
株主資本合計	726,499	702,743
純資産合計	726,499	702,743
負債純資産合計	2,181,629	2,116,498

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,059,760	3,226,496
売上原価	1,174,689	1,255,363
売上総利益	1,885,071	1,971,133
販売費及び一般管理費	1,778,293	1,929,459
営業利益	106,778	41,674
営業外収益		
受取利息及び配当金	67	1,033
受取保険金	2,130	9,555
協賛金収入	2,156	3,213
受取返戻金	1,896	1,200
その他	375	1,019
営業外収益合計	6,626	16,023
営業外費用		
支払利息	2,759	3,645
現金過不足	2,333	2,476
その他	385	484
営業外費用合計	5,478	6,607
経常利益	107,925	51,089
特別利益		
固定資産売却益	4,599	-
特別利益合計	4,599	-
税金等調整前中間純利益	112,525	51,089
法人税、住民税及び事業税	27,671	6,524
法人税等調整額	8,037	14,255
法人税等合計	35,708	20,780
中間純利益	76,816	30,309
親会社株主に帰属する中間純利益	76,816	30,309

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	76,816	30,309
中間包括利益	76,816	30,309
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	76,816	30,309

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	112,525	51,089
減価償却費	39,869	40,683
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,693	△1,606
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	-	△8,652
受取利息及び受取配当金	△67	△1,033
支払利息	2,759	3,645
固定資産売却益	△4,599	-
売上債権の増減額 (△は増加)	22,312	△386
棚卸資産の増減額 (△は増加)	59,729	4,079
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,489	△1,750
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△2,051	△9,639
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45,813	△20,739
受取保険金	△2,130	△9,555
受取返戻金	△1,896	△1,200
協賛金収入	△2,156	△3,213
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	6,414	△2,588
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△262	△262
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,828	△6,624
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	706	△499
その他	221	-
小計	179,550	31,747
利息及び配当金の受取額	67	1,033
利息の支払額	△2,906	△3,654
保険金の受取額	2,130	9,555
受取返戻金の受取額	1,896	1,200
協賛金の受取額	27,171	39,088
法人税等の支払額	△47,946	△45,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,963	33,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,194	△51,206
有形固定資産の売却による収入	4,600	-
敷金及び保証金の差入による支出	△4,196	△2,591
敷金及び保証金の回収による収入	1,619	-
資産除去債務の履行による支出	△108	△500
その他	△83	417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,364	△53,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△50,000
長期借入れによる収入	-	150,000
長期借入金の返済による支出	△83,591	△62,594
リース債務の返済による支出	△6,145	△5,462
配当金の支払額	△42,900	△55,846
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	1,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,636	△22,122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,037	△42,607
現金及び現金同等物の期首残高	744,844	969,756
現金及び現金同等物の中間期末残高	737,806	927,148

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,927,252	1,057,666	74,841	3,059,760	-	3,059,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,927,252	1,057,666	74,841	3,059,760	-	3,059,760
セグメント利益	226,750	105,120	4,470	336,340	△229,562	106,778

(注) 1. セグメント利益の調整額△229,562千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,998,603	1,162,496	65,396	3,226,496	-	3,226,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,998,603	1,162,496	65,396	3,226,496	-	3,226,496
セグメント利益	208,752	97,200	13,466	319,418	△277,744	41,674

(注) 1. セグメント利益の調整額△277,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。